

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	青少年元気サポート事業	<b>担当部署</b>	スポーツ・青少年局	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成20年度～平成22年度	<b>担当課室</b>	青少年課	<b>青少年課長</b>	勝山浩司		
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	II-3. 青少年の健全育成				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	—	<b>関係する計画、通知等</b>	青少年育成施策大綱(平成20年12月青少年育成推進本部決定)、子ども・若者ビジョン(平成22年7月23日子ども・若者育成支援本部決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	学校教育の重要性が叫ばれる一方で、学校外における青少年教育活動は沈滞、低迷し、地域教育力の劣化や地域の大人と青少年がかかわる機会の減少等がみられることから、青少年教育活動の新たな場の開拓とプログラムの開発を行い、その成果の普及を図ることにより青少年教育活動の活性化を図る。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	活動プログラムを実施しようとする青少年団体においては、青少年団体、都道府県教育委員会、有識者等から構成される運営協議会を設け、この協議会で、活動プログラムの企画立案、運営方針等を決定し、さらには、フォーラムの開催や成果物の配布などによる成果の普及を図る。 この協議会による運営方針等に基づき、地域の青少年団体、市町村教育委員会、地域の協力者等から構成される地域実行委員会が、青少年の現代的課題に対応した活動プログラムを実施している。 A. 【アウトドアチャレンジ】 他団体と連携しながら、野外技能の修得度を段階的に評価する制度を構築することを目指して、昨年度に実施した「野外力検定会(入門編)」の普及を引き続き実施。そして、初級・中級編の野外検定力プログラムを策定し、8種目の検定に挑む「アウトドアチャレンジ2011」を実施。また、世界各国から招聘する野外体験指導者と国内諸団体の指導者とが大規模な野営活動イベントにおいて「野外力検定会」を実施。 B. 【地域青少年団体の総合・連携による育成活動】 各地域の青少年団体や有識者と連携し、「青少年の居場所づくりと若者の自立支援」などのテーマについて研究討論等を実施。また、各地域の事例研究を発表し、青少年団体の将来について協議する場として、中央大会「フォーラム」を開催。 C. 【親と子で考える『ぐっとマナー』プロジェクト】 子どもに、マナーやモラルを教える大人を対象に、研修会を実施。また、各地域において、少年少女を対象に、生活のルールやマナーを身につけるような体験活動的プログラムを実施。 D. 【青年活動推進コーディネーター養成事業～地域青年活動再生プロジェクト～】 地域の人々を巻き込んだ活動を計画・実行できるコーディネーターを養成するための研修会を実施。また、各地域の取り組みを報告し、課題を共有し合う場として、中央フォーラムを開催。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	89	90	90	0	
		補正予算	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0		
		計	89	90	90	0	
	執行額	75	86	87.2			
執行率(%)	84.3%	95.6%	96.9%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (22年度)
	各事業の運営協議会における外部有識者の割合	成果実績	%	34	43	50	50
		達成度	%	68	86	100	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	A. 各活動プログラムへの参加者数 ※当初見込みについては、量化していない。	活動実績 (当初見込み)	人	—	—	2,248	—
			人	—	—	( — )	( — )
			人	—	—	665	—
			人	—	—	( 450 )	( — )
B. 各活動プログラムへの参加者数	人	—	—	2,525	—		
C. 各活動プログラムへの参加者数	人	—	—	( 1,000 )	( — )		
D. 各活動プログラムへの参加者数	人	—	—	193	—		
人	—	—	( 280 )	( — )			
<b>単位当たりコスト</b>	22,242(円/人)		算出根拠	A. 各活動プログラム1人あたりのコスト(平成22年度) X/Y=22,242(円/人) X:50,000,000円(本事業執行額) Y:2,248人(各活動プログラム参加者数)			
	20,953(円/人)			B. 各活動プログラム1人あたりのコスト(平成22年度) X/Y=20,953(円/人) X:13,933,832円(本事業執行額) Y:665人(各活動プログラム参加者数)			
	4,885(円/人)			C. 各活動プログラム1人あたりのコスト(平成22年度) X/Y=4,885(円/人) X:12,333,527円(本事業執行額) Y:2,525人(各活動プログラム参加者数)			
	49,298(円/人)			D. 各活動プログラム1人あたりのコスト(平成22年度) X/Y=49,298(円/人) X:9,514,455円(本事業執行額) Y:193人(各活動プログラム参加者数)			

平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由
	計			

**事業所管部局による点検**

	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施現場への視察を行うなど、適切な事業実施がなされているか確認を行っている。</li> <li>・事業完了後には事業の報告書類や支出を証明する書類の提出を求め、適切な執行がなされているかを検査している。</li> <li>・各事業の運営協議会における外部有識者の割合が50%を超え、成果目標達成率は年々向上している。</li> <li>・公開プロセス(平成22年度)において「特定の全国団体への助成と指摘されかねない事業ではなく、国は成功している青少年活動を評価・分析し、それを広げるといった役割に徹するべき。」との指摘を受け、平成22年度限りで廃止。同プロセスにおいての指摘をふまえ、国立青少年教育振興機構に青少年教育研究センターを設置し、国と連携し、成功している青少年活動を評価・分析していくべきである。</li> </ul>	

**予算監視・効率化チームの所見**

	<p>本事業については、昨年6月の公開プロセス対象事業であり、その際の指摘等を踏まえ、平成22年度をもって廃止している。</p>
--	--

**上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)**

--	--

**補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)**

<input type="radio"/> 公開プロセス <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度公開プロセス対象事業</li> <li>・シート番号: 10</li> <li>・事業名: 青少年元気サポート事業</li> </ul>	<b>【結果】</b> 廃止 <b>【コメント】</b> 特定の全国団体への助成と指摘されかねない事業ではなく、国は成功している青少年活動を評価・分析し、それを広げるといった役割に徹するべき。 <input type="radio"/> 平成22年度限りで廃止
---	--

文部科学省  
87.2百万円

諸謝金 0.2百万円  
職員旅費 0.6百万円  
委員等旅費 0.5百万円  
庁費 2.1百万円

を含む

学識経験者、青少年団体関係者等で構成される企画評価委員会を設置し、委託事業の採択をはじめ本事業の推進方策等を検討。

【公募・委託】

A.(財)ボーイスカウト日本連盟  
50百万円

【公募・委託】

B.(社)中央青年団体連絡協議会  
12百万円

【公募・委託】

C.(社)ガールスカウト日本連盟  
12.3百万円

【公募・委託】

D.日本青年団協議会  
9.5百万円

【アウトドアチャレンジ】  
他団体と連携しながら、野外技能の修得度を段階的に評価する制度を構築することを目指して、昨年度に実施した「野外力検定会(入門編)」の普及を引き続き実施。そして、初級・中級編の野外検力プログラムを策定し、8種目の検定に挑む「アウトドアチャレンジ2011」を実施。また、世界各国から招聘する野外体験指導者と国内諸団体の指導者とが大規模な野営活動イベントにおいて「野外力検定会」を実施。

【地域青少年団体の総合・連携による育成活動】  
各地域の青少年団体や有識者と連携し、「青少年の居場所づくりと若者の自立支援」などのテーマについて研究討論等を実施。また、各地域の事例研究を公表し、青少年団体の将来について協議する場として、中央大会「フォーラム」を開催。

【親と子で考える『ぐっとマナー』プロジェクト】  
子どもに、マナーやモラルを教える大人を対象に、研修会を実施。また、各地域において、青少年を対象に、生活のルールやマナーを身につけるような体験活動的プログラムを実施。

【青年活動推進コーディネーター養成事業～地域青年活動再生プロジェクト～】  
地域の人々を巻き込んだ活動を計画・実行できるコーディネーターを養成するための研修会を実施。また、各地域の取り組みを報告し、課題を共有し合う場として、中央フォーラムを開催。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.(財)ホーイスカウト日本連盟 【アウトドアチャレンジ】			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	会議出席旅費、指導者旅費等	19.1			
雑役務費	報告書作成費、HP運用費等	7.7			
諸謝金	指導謝金、会議出席謝金	6.3			
印刷製本費	チラシの作成等	5.6			
一般管理費	—	4.6			
借料及び損料	会場借料等	4.0			
消耗品費	コピー用紙、事業用雑品	1.2			
賃金	事務補助	1.0			
その他	賃金(事務補助)、通信運搬費(チラシ送料等)、会議費(飲み物等)、保険料	0.5			
計		50.0	計		0
B.(社)中央青年団体連絡協議会 【地域青年団体の総合・連携による育成活動】			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	指導謝金、会議出席謝金	4.1			
旅費	会議出席旅費、指導者旅費等	1.8			
借料及び損料	会場借料等	1.7			
印刷製本費	チラシの作成等	1.6			
賃金	事務補助	1.5			
一般管理費	—	0.8			
消耗品費		0.3			
その他	一般管理費、消耗品費(コピー用紙等)、賃金(事務補助)、通信運搬費	0.2			
計		12.0	計		0
C.(社)ガールスカウト日本連盟 【親と子で考える『ぐっとマナー』プロジェクト】			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	チラシの作成等	5.0			
旅費	会議出席旅費、指導者旅費等	2.2			
通信運搬費	資料送付等	1.4			
賃金	事務補助	1.2			
一般管理費	-	1.1			
諸謝金	委員出席謝金	0.8			
消耗品費	プリンターインク、コピー用紙等	0.4			
その他	借料及び損料(会議損料)、会議費(お茶代)、保険料、雑役務費(振り込)	0.2			
計		12.3	計		0
D.日本青年団協議会 【青年活動推進コーディネーター養成事業】			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	会議出席旅費、指導者旅費等	4.3			
諸謝金	指導謝金、会議出席謝金	1.7			
一般管理費	-	0.9			
借料及び損料	会議場借料等	0.9			
印刷製本費	チラシの作成等	0.6			
賃金	事務補助	0.5			
通信運搬費	チラシ発送等	0.4			
その他	消耗品費(コピー用紙等)、会議費(飲み物等)	0.2			
計		9.5	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

### A.青少年元気サポート事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)ボーイスカウト日本連盟	【アウトドアチャレンジ】 他団体と連携しながら、「野外力検定会」の普及を実施	50	企画競争	-

### B.青少年元気サポート事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)中央青年団体連絡協議会	【地域青少年団体の総合・連携による育成活動】 各地域の青少年団体や有識者と連携し、研究討論等を実施	12	企画競争	-

### C.青少年元気サポート事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)ガールスカウト日本連盟	【親と子で考える『ぐっとマナー』プロジェクト】 子どもにマナーやモラルを教える大人を対象に、研修会を実施	12.3	企画競争	-

### D.青少年元気サポート事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本青年団協議会	【青年活動推進コーディネーター養成事業～地域青年活動再生プロジェクト】 地域の人々を巻き込んだ活動を計画・実行できるコーディネーターの養成	9.5	企画競争	-